



木綿の育て方

種まき

5月上旬 八十八夜のころ

(朝霜が降りなくなった頃が目安、日照が初期の成長に影響するので梅雨に入る前、

5月中に植えるのが好ましい。)

日当たりのよい場所を選ぶ

水はけのよい土 (畑土と砂の割合が6 : 4くらい)

⇒綿はオクラと同じアオイ科の中の、ワタ属。ホームセンターで販売されている野菜

用の土で構いません。

- 鉢植え・・・直径25cm程度の深めの鉢
- 畑・地植え・・・畝を上げて、20~30cm間隔で植える

肥料

油粕・骨粉・鶏糞など、あまり強くないものを使用する。

水やり

基本は朝夕の2回程度、土が乾かないように水をやる。

育て方

種は植える前日に一晩水につけておく。

浅く2~3cm穴を掘って、2粒~4粒入れる。

土を軽くかぶせたあと、たっぷり水をやる。

およそ7日~10日程度で芽が出る。

双葉のときはアブラムシがつきやすいため、薬剤（オルトランなど）を使用し

ても良い

本葉が6cm~7cm程度に成長してきたら、一番肥を施す。あまり根本の近

くにはやらないように注意

10cmくらいに伸びてきたら、元気の良い苗を残して間引きを行う。

20cmくらいに伸びたら、倒れないように添木をする。

6月下旬、追肥（2番肥）を施す。

7月中旬、綿木が60cmほどに伸びたら、芯留め（成長する芯を摘み取る）

植木鉢で60cm程度、畑でも1mくらいまでで芯留めをしておく方が良い。

7月中旬~後半 つぼみが付き始める

7月下旬、追肥（3番肥）を施す。



7月後半~8月上旬 花が咲き、朔（さく）と呼ばれる実ができる。



8月の中旬~8月下旬 下の枝から順に白い綿がふき始める。



ふいた綿は、雨に濡れないタイミングで摘み取って2~3日天日干しするとふわっとした綿がとれる。



朔についてままのコットンボールが欲しい方

あまり大きく朔が開く前に枝ごと切っしまい、枯らしてしまうようにしてください。

お問い合わせ・ご相談は

<https://terra-cotton.com>